

2026年1月

県内企業の景況意識調査

(第195回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2025年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み

* 2026年 1～3月期〈Ⅰ期〉の見通し

2年ぶりのプラス域

今期（2025年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、前期比17.2ポイント上昇の+1.2となった。業種別のBSIは『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の4業種で改善、『建設業』『金融・不動産業』の2業種は前期比不変であった。なお悪化した業種はなかった。

観光需要が高まったことにより、サービス業が大幅に改善し、全体でも2023年10～12月期以来、2年ぶりのプラス水準となった。

来期（2026年1～3月期〈Ⅰ期〉）の業況判断BSIは、今期比9.1ポイント低下の▲7.9となる見通し。業種別のBSIは『卸・小売業』の1業種で改善、『建設業』『製造業』『運輸業』『サービス業』の4業種で悪化、『金融・不動産業』は今期比不変の見通しである。

製造業において自動車関連企業の悪化が見込まれており、全体の業況判断BSIも悪化する見通し。

* 2025年 10～12月期〈Ⅳ期〉の実績見込み

製 造 業……………2期連続の改善

卸・小売業……………卸売業、小売業ともに改善

建 設 業……………前期と同水準

サービス業……………3期ぶりのプラス水準

2年ぶりのプラス域

◎業況判断

【今期】(2025年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：+1.2（前期比+17.2ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 18.8%（前期比+12.6ポイント）
- ・悪くなった 17.6%（前期比▲4.6ポイント）
- ・変わらない 63.6%（前期比▲8.0ポイント）

＜業種別＞

- ・前期比改善：4業種（『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』）
- ・前期比悪化：0業種
- ・前期比不変：2業種（『建設業』『金融・不動産業』）

今期の業況判断BSIは、観光需要が高まったことにより、サービス業が大幅に改善し、全体でも2023年10～12月期以来、2年ぶりのプラス水準となった。

【来期】(2026年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲7.9（今期比▲9.1ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 14.5%（今期比▲4.3ポイント）
- ・悪くなる 22.4%（今期比+4.8ポイント）
- ・変わらない 63.0%（今期比▲0.6ポイント）

＜業種別＞

- ・今期比改善：1業種（『卸・小売業』）
- ・今期比悪化：4業種（『建設業』『製造業』『運輸業』『サービス業』）
- ・今期比不変：1業種（『金融・不動産業』）

来期については、製造業において自動車関連企業の悪化が見込まれており、全体の業況判断BSIも悪化する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+13.3（前期比+17.6ポイント）

4業種で改善

収益BSI：+3.0（前期比+18.5ポイント）

4業種で改善

【来期】

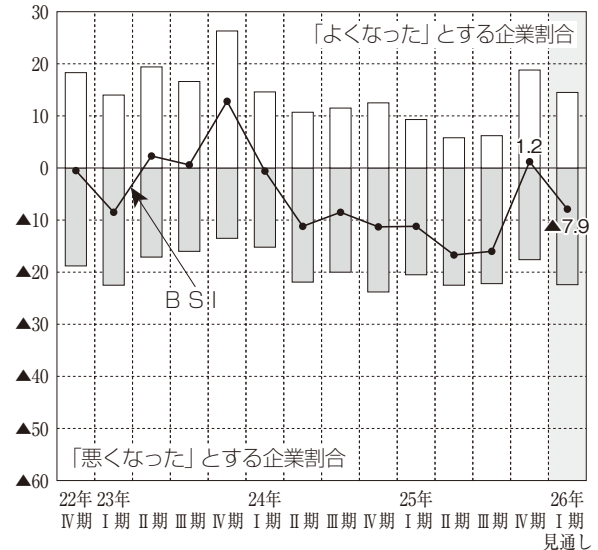
売上高BSI：▲5.5（今期比▲18.8ポイント）

4業種で悪化見通し

収益BSI：▲12.1（今期比▲15.1ポイント）

4業種で悪化見通し

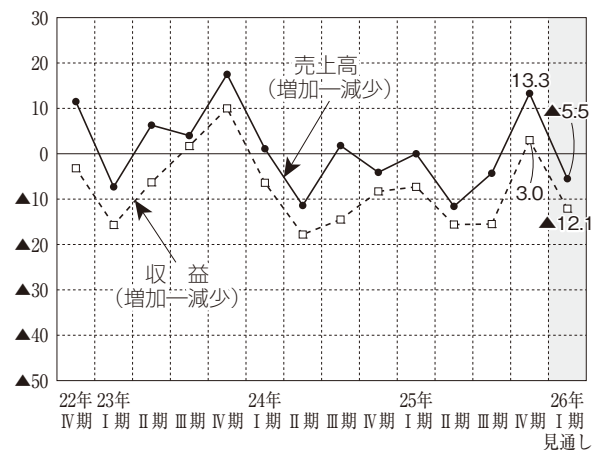
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2025年 Ⅱ期	2025年 Ⅲ期	2025年 Ⅳ期	2026年 Ⅰ期見通し
建設業	▲22.7	0.0	0.0	▲14.2
製造業	▲16.9	▲15.5	▲8.9	▲16.1
卸・小売業	▲18.6	▲27.8	▲2.7	0.0
金融・不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	▲7.7	7.1	0.0
サービス業	▲19.3	▲20.7	21.2	▲3.0
全産業	▲16.7	▲16.0	1.2	▲7.9

売上高と収益（BSI）



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 3.7 (前期比 + 6.9%)

3 業種で上昇

雇用者数の現状 B S I : ▲ 39.9 (前期比 + 1.1%)

2 業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 11.1 (今期比 ▲ 7.4%)

◎経営上の問題点

1 位 : 「原材料仕入価格高騰」(24.4%)

2 位 : 「売上不振」(23.1%)

3 位 : 「人手不足」(19.2%)

4 位 : 「人材不足」(14.1%)

業種別にみると、「原材料仕入価格高騰」と回答した割合は、『金融・不動産業』が50.0%と最も高い。「売上不振」は『製造業』で38.9%と特に高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合 : 43.6% (前期比 ▲ 0.8%)

2 業種で低下

<投資目的>

1 位 : 「補修・更新」(77.8%)

2 位 : 「生産能力の拡大・売上増加」(15.3%)

3 位 : 「合理化・省力化」(4.2%)

【来期】

実施予定企業の割合 : 44.8% (今期比 + 1.2%)

4 業種で上昇見通し

<投資目的>

1 位 : 「補修・更新」(64.4%)

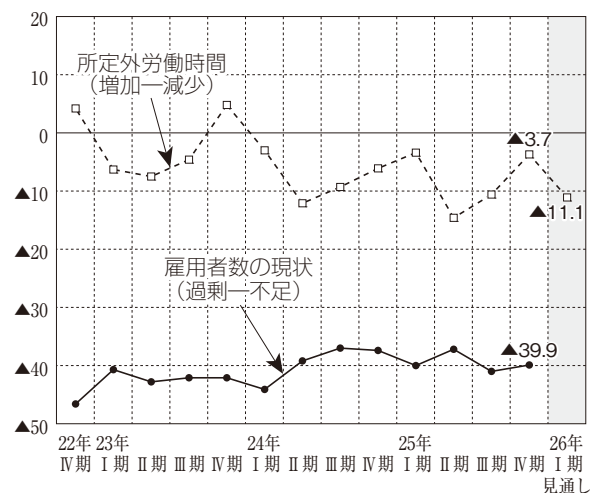
2 位 : 「生産能力の拡大・売上増加」(13.7%)

3 位 : 「合理化・省力化」(11.0%)

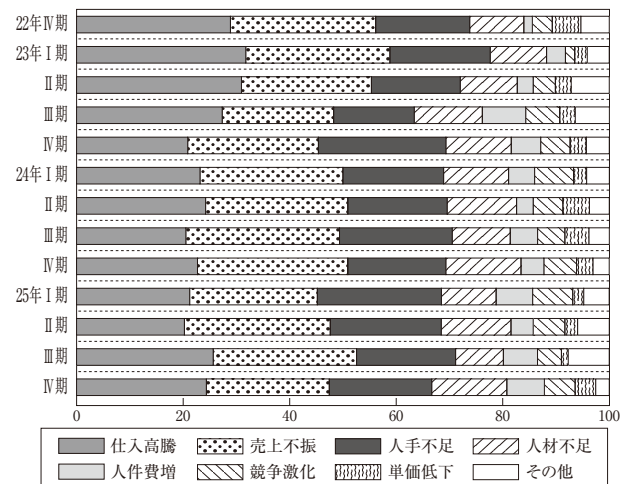
◎「2025年の冬季ボーナスの支給予定額」について

今回の調査において、「2025年の冬季ボーナスの支給予定額」について尋ねたところ、「2024年の冬季と同水準」が46.1%、「2024年の冬季より増額する」が21.8%、「わからない」が19.4%、「2024年の冬季より減額する」が6.1%、「ボーナスの支給予定はない」が4.8%となった。

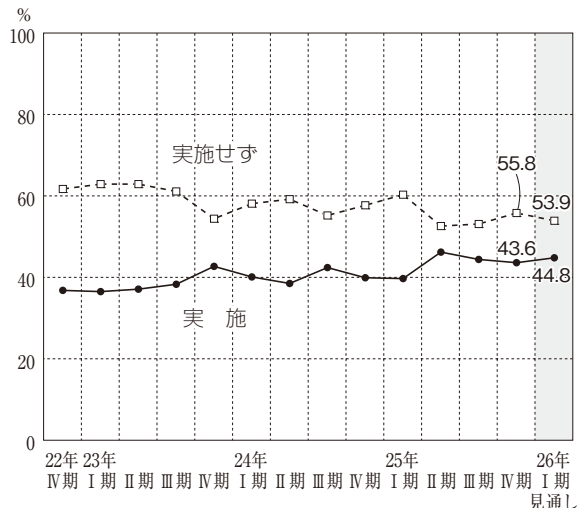
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2 期連続の改善

◎業況判断

【今期】(2025年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：▲8.9（前期比+ 6.6ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなった 14.3%（前期比+ 9.1ポイント）
- ・悪くなった 23.2%（前期比+ 2.5ポイント）
- ・変わらない 62.5%（前期比▲11.6ポイント）

＜業種別＞

- ・前期比改善：3業種（「食料品」「木材・家具」「その他」）
- ・前期比悪化：2業種（「機械」「印刷・出版」）
- ・前期比不変：3業種（「化学・石油」「鉄・非鉄金属」「窯業・土石」）

年末年始関連商品の売れ行きが好調な、「食料品」が改善したほか、製品需要の持ち直しがみられる「木材・家具」も堅調であり、全体の業況判断BSIも改善した。

【来期】(2026年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲16.1（今期比▲7.2ポイント）

＜内訳＞

- ・よくなる 12.5%（今期比▲1.8ポイント）
- ・悪くなる 28.6%（今期比+ 5.4ポイント）
- ・変わらない 58.9%（今期比▲3.6ポイント）

＜業種別＞

- ・今期比改善：2業種（「機械」「その他」）
- ・今期比悪化：4業種（「鉄・非鉄金属」「食料品」「木材・家具」「印刷・出版」）
- ・今期比不変：2業種（「化学・石油」「窯業・土石」）

船舶需要の高まりなどにより、「機械」の改善が見込まれるものの、半導体供給が途絶し、一部自動車メーカーが減産を継続するとの見立てから、「鉄・非鉄金属」が悪化する見込みであり、全体の業況判断BSIも悪化する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲3.6（前期比+ 5.1ポイント）

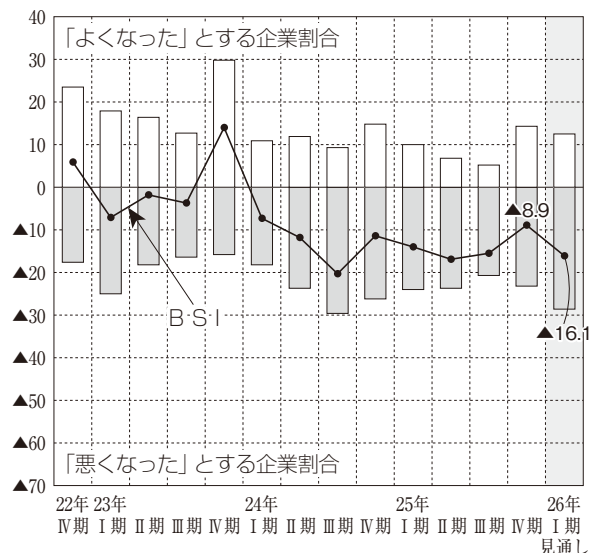
収益BSI：▲17.8（前期比+ 6.3ポイント）

【来期】

売上高BSI：▲5.4（今期比▲1.8ポイント）

収益BSI：▲14.2（今期比+ 3.6ポイント）

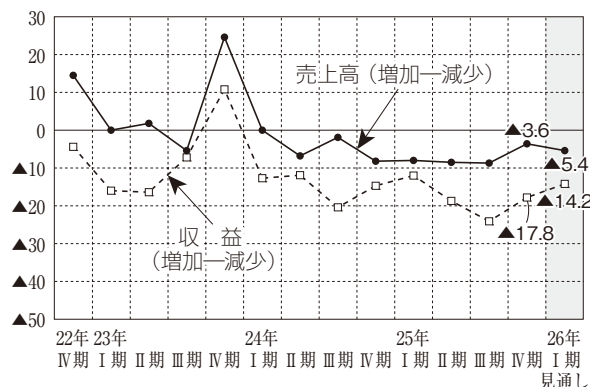
業況判断（BSI）



業況判断指数内訳（BSI）

	2025年Ⅱ期	2025年Ⅲ期	2025年Ⅳ期	2026年Ⅰ期見通し
化学・石油	▲22.2	0.0	0.0	0.0
鉄・非鉄金属	▲75.0	▲40.0	▲40.0	▲80.0
機 械	▲4.7	▲5.0	▲6.2	12.5
食 料 品	▲7.7	▲8.4	8.3	▲16.7
木材・家具	▲50.0	▲66.7	0.0	▲50.0
印刷・出版	▲50.0	▲40.0	▲50.0	▲75.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0
そ の 他	0.0	▲33.3	▲20.0	0.0
製 造 業	▲16.9	▲15.5	▲8.9	▲16.1

売上高と収益（BSI）



卸・小売業

(36社)

卸売業、小売業ともに改善

◎業況判断

【今期】(2025年10～12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲6.3（前期比+18.7㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 12.5%（前期比±0.0㊦）
- ・悪くなった 18.8%（前期比▲18.7㊦）
- ・変わらない 68.8%（前期比+18.8㊦）

『小売業』

業況判断BSI：±0.0（前期比+30.0㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 20.0%（前期比+10.0㊦）
- ・悪くなった 20.0%（前期比▲20.0㊦）
- ・変わらない 60.0%（前期比+10.0㊦）

卸売業、小売業ともに売上高・収益BSIが改善し、業況判断BSIも改善した。小売業では、物価上昇により売上高が押し上げられているとの声が聞かれた。

【来期】(2026年1～3月期〈Ⅰ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲31.2（今期比▲24.9㊦）

『小売業』

業況判断BSI：+25.0（今期比+25.0㊦）

業況判断BSIは、卸売業は悪化、小売業は改善の見通し。卸売業では、年末需要の反動減を懸念する声が聞かれた。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+12.5（前期比+19.1㊦）

収益BSI：+12.5（前期比+25.0㊦）

【来期】

売上高BSI：▲31.3（今期比▲43.8㊦）

収益BSI：▲31.2（今期比▲43.7㊦）

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+20.0（前期比+40.0㊦）

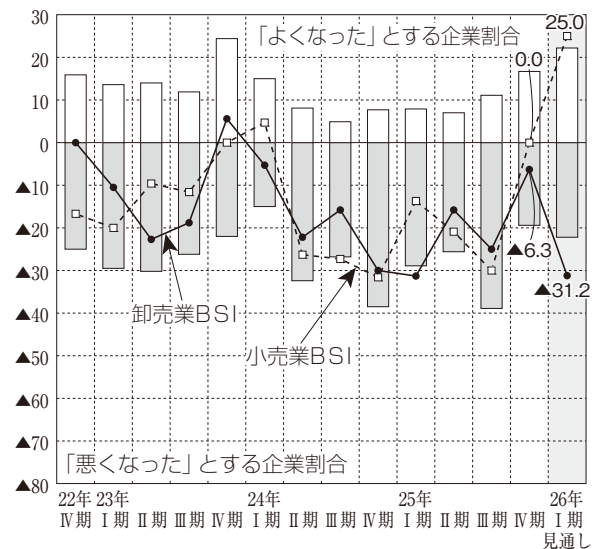
収益BSI：±0.0（前期比+35.0㊦）

【来期】

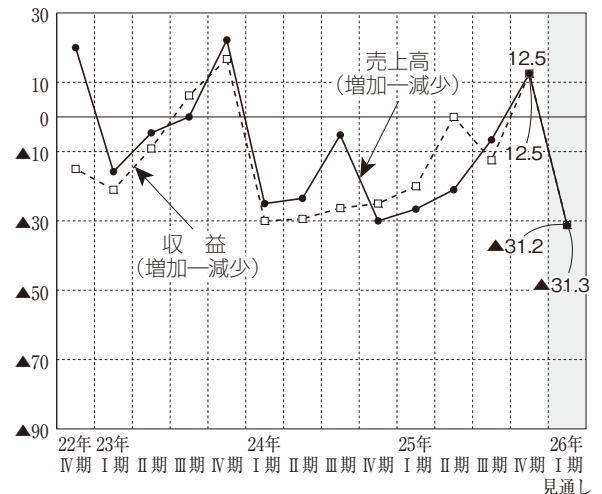
売上高BSI：+5.0（今期比▲15.0㊦）

収益BSI：▲5.0（今期比▲5.0㊦）

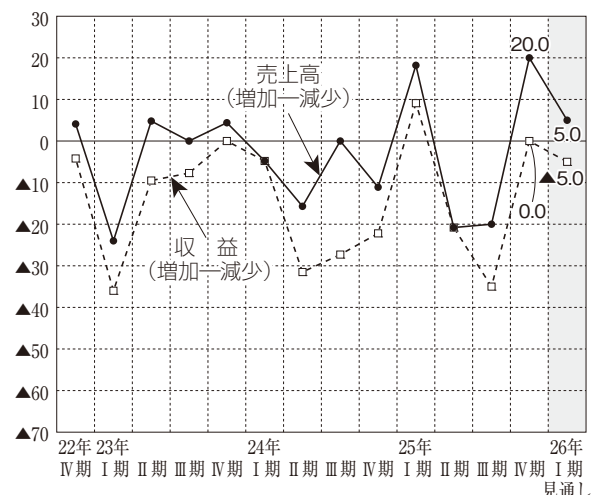
業況判断（BSI）



【卸売業】売上高と収益（BSI）



【小売業】売上高と収益（BSI）



前期と同水準

◎業況判断

【今期】(2025年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：± 0.0（前期比± 0.0㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 9.5%（前期比+ 4.7㊦）
- ・悪くなった 9.5%（前期比+ 4.7㊦）
- ・変わらない 81.0%（前期比▲ 9.5㊦）

一部の企業で設備投資の増加による押し上げから改善がみられた一方で、円安に伴う仕入れ価格の高騰で悪化した企業も同程度増え、今期の業況判断BSIは前期と同水準となった。

【来期】(2026年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI：▲14.2（今期比▲14.2㊦）

＜内訳＞

- ・よくなる 4.8%（今期比▲ 4.7㊦）
- ・悪くなる 19.0%（今期比+ 9.5㊦）
- ・変わらない 76.2%（今期比▲ 4.8㊦）

来期は、売上高・収益ともに減少が見込まれ、業況判断BSIは今期から大幅に悪化する見通し。また、今期に続き、円安に伴う仕入れ価格の高騰を危惧する声がかれた。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+23.8（前期比+23.8㊦）

収益BSI：+23.8（前期比+28.5㊦）

【来期】

売上高BSI：+ 4.7（今期比▲19.1㊦）

収益BSI：+ 4.7（今期比▲19.1㊦）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲ 9.5（前期比± 0.0㊦）

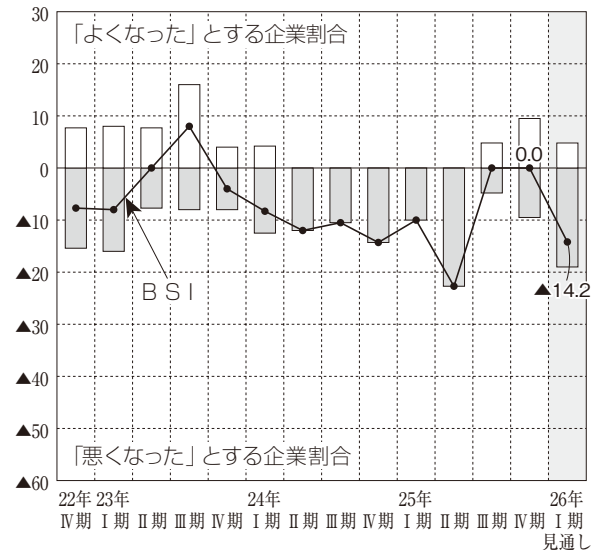
雇用者数の現状BSI：▲76.2（前期比+ 9.5㊦）

【来期】

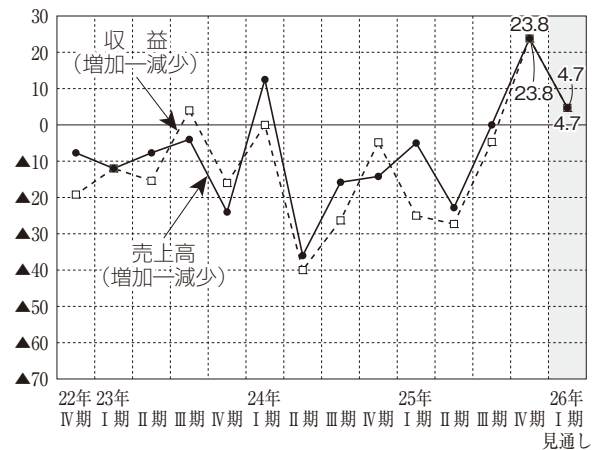
所定外労働時間BSI：▲ 9.5（今期比± 0.0㊦）

雇用者数の現状BSIは、2期連続で改善しているものの、依然として人手不足感は強い状況が続いている。

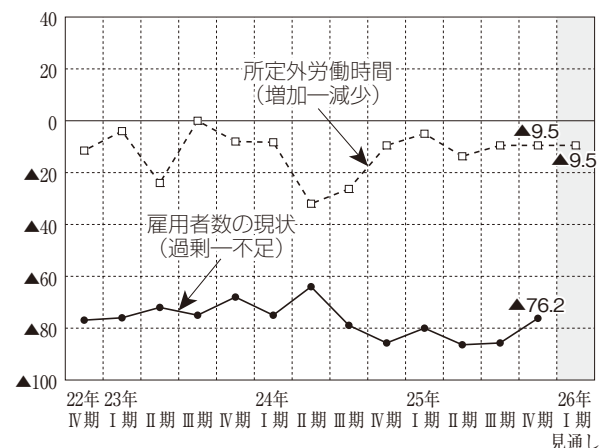
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



サービス業

(33社)

3期ぶりのプラス水準

◎業況判断

【今期】(2025年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI : +21.2 (前期比+41.9ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 33.3% (前期比+29.9ポイント)
- ・悪くなった 12.1% (前期比▲12.0ポイント)
- ・変わらない 54.5% (前期比▲17.9ポイント)

業況判断BSIは前期から大幅に改善し、3期ぶりのプラス水準となった。

サービス業のうち観光関連の17社では、「よくなった」と回答した企業は前期比41.2ポイント増の41.2%、「悪くなった」と回答した企業は同20.9ポイント減の17.6%となった。長く続いた酷暑が過ぎ、行楽シーズンに入ったことで、需要が高まった。

観光関連以外の16社では、「よくなった」と回答した企業は25.0%、「悪くなった」と回答した企業は6.3%だった。

【来期】(2026年1～3月期〈Ⅰ期〉)

業況判断BSI : ▲3.0 (今期比▲24.2ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 15.2% (今期比▲18.1ポイント)
- ・悪くなる 18.2% (今期比+6.1ポイント)
- ・変わらない 66.7% (今期比+12.2ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : +36.3 (前期比+39.9ポイント)

収益BSI : +21.2 (前期比+31.9ポイント)

【来期】

売上高BSI : ▲12.1 (今期比▲48.4ポイント)

収益BSI : ▲21.2 (今期比▲42.4ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

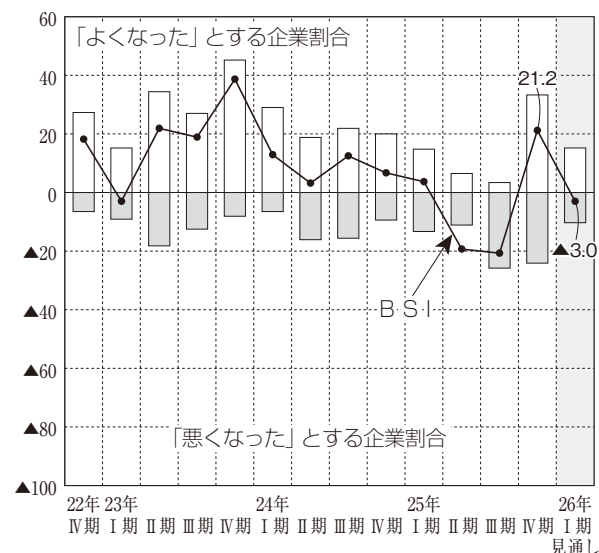
所定外労働時間BSI : +9.1 (前期比+19.5ポイント)

雇用者数の現状BSI : ▲60.6 (前期比▲12.3ポイント)

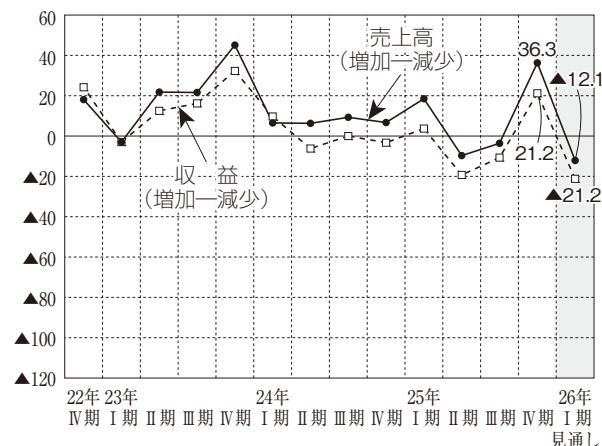
【来期】

所定外労働時間BSI : ▲3.0 (今期比▲12.1ポイント)

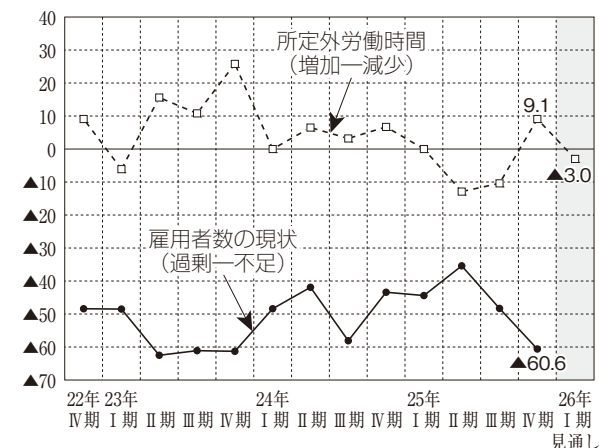
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ BSI = 〔よくなる〕-〔悪くなる〕

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要	
当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。	
◎調査時点	2025年11月20日
◎調査の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社の景況の実績と見通し ・ 売上高と収益の実績と見通し ・ 設備投資実施割合 ・ 経営上の問題点など
◎調査対象	・ 県内に本社または出先事業所を有する企業419社
◎回答企業数	165社
・ 回答率	39.4%
・ 規模別割合	
資本金1千万円未満・個人	5.5%
資本金1千万円～1億円未満	60.6%
資本金1億円以上	15.8%
無回答	18.2%